

(別紙様式)

教科用図書調査に関する報告書

教科	生活
----	----

発行者 略称	教科書名	選定委員から付された意見
東書	どきどき わくわく 新編 あたらしい せいかつ 上 あしたへジャンプ 新編 新しい生活 下	<ul style="list-style-type: none"> ・スタートカリキュラムが充実している。 ・同じ場所で観察することにより、季節の移り変わりを感じることができる。 ・イラストや写真で、校外活動時等の注意事項を示していることが良い。 ・主体的に取り組めるような構成になっているのが良い。 ・児童が楽しみながら教科書を見ることが出来る。 ・デジタルコンテンツが充実している。 <p>※選定委員から採択にふさわしい教科書との意思表示があった。</p>
大日本	新版 たのしい せいかつ 上 だいすき 新版 たのしい せいかつ 下 ひろがれ	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生は活動や体験を通して学んでいくことを考えると、イラストで描かれているところが気になる。児童の活動意欲を掻き立てる意味で、写真のほうが良いのではないか。 ・秋の写真がカラーではなくモノクロであった。児童に想像させることがねらいだと思うが、意図を理解しにくいのではないか。 ・写真にある風景は加古川市ではあまり見ない風景であり、身近に感じられないのではないか。
学図	みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 上・下	<ul style="list-style-type: none"> ・スタートカリキュラムというより、小学校生活の流れを示しており、その中で幼児期の遊びとどう繋がっているかを図や絵で表している。教科書の構成として明確にわかる方が良い。 ・安全面のチェックポイントが○×で記載できるようになっており、指導しやすい。 ・危険回避を意識できるように作られている。 ・1年生から2年生になるとキャラクターが成長しているところも工夫されている。
教出	せいかつ上 みんな なかよし せいかつ下 なかよし ひろがれ	<ul style="list-style-type: none"> ・写真・イラストともに多様性を意識したものとなっている。 ・季節の移り変わりが意識できる写真になっていた。 ・ICTのマナーについても明示されている。 ・迷路をたどるような作りは少し見にくさを感じた。 ・車椅子の児童、外国がルーツの児童などが登場する。 ・春、夏、秋、冬とイラストが変化しており季節感がわかりやすいが、身近には感じにくいイラストである。 ・「みんななかよし」「なかよしひろがれ」というサブタイトルから、この教科書が設定しているゴールがわかりやすい。

<p>光 村</p>	<p>せいかつ たんけんたい 上 はじめてが いっぱい せいかつ たんけんたい 下 はっけん だいすき</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヨシタケシンスケさんの絵が使われているのは特徴であるが、ヨシタケシンスケさんのことを知らない人にとってはどう感じるのか、生活科とどう繋がるのかが気になる。 ・ 教科書のページ数が多く、重量感がある。 ・ 「保護者の皆様へ」という欄があり、保護者を意識する構成になっている。 ・ イラストから考える流れは良いが、児童にとっては理解しにくいかもしれない。 ・ 「季節の仲間たち」のコーナーの鮮明な写真は、図鑑のような役割を果たすのではないか。 ・ 荷物が重い中、巻末の付録ページが必要かは疑問が残る。
<p>啓林館</p>	<p>わくわく せいかつ上 いきいき せいかつ下</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ スタートカリキュラムが充実している。 ・ 手洗い、うがい、換気といった感染症対策を意識している。 ・ 表紙・目次にインパクトのある写真が多く、活動意欲を高めるには効果的であると感じた。 ・ 情報が多すぎず、すっきりしている。 ・ 加古川市消防が掲載されているほか、兵庫県の資料の掲載も多い。 <p>※選定委員から採択にふさわしい教科書との意思表示があった。</p>